

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] JEPICA 薬剤師部会 多施設共同研究 てんかんセンターにおける抗てんかん発作薬の年次推移

[研究責任者] 小児科 本田 涼子

[研究の背景]

近年、数多くの抗てんかん発作薬が登場しててんかん患者さんの薬物治療は大きく進歩しました。抗てんかん発作薬の使用頻度がどう変化し、その変化が何をもたらしたのかを明らかにする必要があると考えられます。

[研究の目的]

2008 年から 2022 年までのてんかんセンターの抗てんかん発作薬の使用頻度を調査します。さらに、日本の診療報酬データベースとてんかん専門病院で抗てんかん発作薬の処方動向が異なるのか比較します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008 年 1 月から 2022 年 12 月までに長崎医療センターを受診し、抗てんかん発作薬が処方された患者さん

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2026 年 12 月 31 日

●利用するカルテ情報

性別、年齢、服用薬剤、検査値、血中濃度

●情報の管理

情報は当院にて解析を行います。解析した結果は共同研究を行うてんかんセンター同士で比較検討を行います。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：静岡てんかん神経医療センター 山本吉章

●その他の共同研究機関：広島大学病院、京都大学医学部附属病院、国立精神・神経医療研究センター、岡山大学病院

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター
小児科 本田涼子
電話番号： 0957-52-3121